

学校紹介

輝く子どもをめざして

「中郷学校」は、小学校、公民館（中郷地区交流館）、及び幼稚園を同じ敷地内に建設した複合施設の名称です。

三春ダムの建設によって、地区の再編成が迫られたことから、学校教育と生涯教育及びまちづくりは一つという願いのもとに、コミュニティスクールとしてスタートしました。

本校は丘陵の高低差を利用し、地階を設け、さらに体育館を半地下に沈め、北側のアプローチを明るくし、体育館を透かして 湖面を望める開口デザインになっています。このように各施設は風通しや見通しを考慮したつくりになっています。

それぞれの建物には、ガラスがたくさん使われており、室内は大変明るく、トップライトから差し込む2本の光の柱が立っています。その柱を芯にして子どもや地域の人たちの動きの渦ができあがり、学習や交流が行われています。

小学校や幼稚園では、学習の個別化・個性化を目指し、明るく魅力的な校舎で、児童や園児たち多様な活動が展開されています。公民館（中郷地区交流館）は、地域の人々の会議やサークル活動に利用されていると共に、小学校の家庭科調理実習にも使われ、相互利用が行われています。幼稚園児が小学校に入学する際には、新たな気持ちの切り替えが図られるよう、独立性が感じられるようになっています。これらを確保しつつ、連続性を持つことができるように配置されています。

このように、中郷学校は「開かれた学校」「生涯教育への学校教育」をめざし、幼児から老人の方々まで、年齢を越えて学習や活動に集い、地域の人々の相互交流を生み出す場となっています。

平成25年4月1日からは、三春町教育委員会より地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に基づき「学校運営協議会」設置指定を受け、コミュニティスクールとしての新たなスタートをしました。保護者の皆様、地域の皆様との協働による学校づくりに取り組み、子ども達の個性を尊重しつつ、保護者の皆様や地域の皆様の意向を十分反映した子どもの生きる力を育む学校運営に努めてまいります。

教えやすさより学びやすさを



教えやすさよりも学びやすさを考慮した施設建築がされています。

ブルーが印象的な作業台にも使える図工広場や学習活動に活用できる音楽広場など、学習活動が子どもたちに合わせて広がっていくことができるよう設計されています。

玄関ホールから続く階段は、旧校舎の部分を使い、中郷小の歴史を感じる部分となっています。